

STOP! 介護崩壊 介護ウェーブ2013推進ニュース

「社会保障・税一体改革 阻止・介護保障制度の抜本改善を!!」

— 今年も介護の“Big Wave”をおこそう! —



社会保険のさらなる改悪を示す 国民会議の「最終報告」が出される!

8月6日社会保障制度改革国民会議が、消費税増税と一体で実施をねらう社会保障「改革」についての最終報告書をまとめ、安倍首相に提出しました。報告書の内容は**医療・介護、年金、保育の全分野で、給付抑制と負担増ばかり**が目立つ内容です。

介護分野では、「範囲の適正化等による介護サービスの効率化及び重点化を図る」(社会保障制度改革推進法第7条)としています。

○ 給付について

- ・ 要支援者に対する介護予防給付について、市町村が地域の実情に応じ、住民主体の取組等を積極的に活用しながら柔軟かつ効率的にサービスを提供できるよう受け皿を確保しながら、新たな「地域包括推進事業(仮称)」に段階的に移行させていくべき
- ・ 特別養護老人ホームは中重度者に重点化
- ・ デイサービスについては、重度化予防に効果のある給付への重点化を図る

○ 負担について

- ・ 一定以上の所得のある利用者負担は、引き上げるべき
- ・ 補足給付に当たっては資産(ストック)も勘案すべき。遺族年金等の非課税年金や世帯分離された配偶者の所得等を勘案するよう、見直すべき
- ・ 低所得者の第1号保険料について基準額に乗ることにより負担を軽減している割合を更に引き下げ、軽減措置を拡充すべきである。
- ・ 被用者保険について、被保険者の総報酬額に応じたものとしていくべき(総報酬割の導入)

○ さらに

「こうした取組も含め、負担の公平にも配慮しながら、介護保険料の負担をできるだけ適正な範囲に抑えつつ、介護保険制度の持続可能性を高めるため、引き続き、介護サービスの効率化・重点化に取り組む必要がある」と述べており、さらなる改悪を方向づける内容になっています。



国民会議の「最終報告」に対して、全日本民医連理事会として声明を出しました(別紙)。国民会議の「報告書」は首相官邸のホームページに掲載されています。長文ですが、ぜひチェックしてみましょう。
<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kokuminkaigi/>

★ 「最終報告」が示した介護保険の改悪に対して、マスコミが介護問題に注目を寄せています。添付した2本の新聞記事(東京、朝日)は、7月30日、厚労省への署名提出と併せて実施した記者会見を受けたものです。現在、テレビ東京、NHKなどから取材の申し入れが入っています。

お問い合わせは、「介護ウェーブ推進本部」 事務局：諏佐・山平
☎ 03-5842-6451 / fax 03-5842-6460 / E-mail min-kaigo@min-iren.gr.jp

